

食べもの、道具、文字、遊び...私たちの暮らしのなかには、見える「モノ」と見えない「モノ」がある。これらの「モノ」たちが世界へ広がっていった、さまざまな「道」の物語。

1 食べ物の通った道

ジャガイモ『ジャガイモのきた道 文明・飢饉・戦争』 山本紀夫著 岩波書店
2008 年

ペルーから来たジャガイモは、ヨーロッパでは初めは食べものと思われなかった。チップスやコロケが生まれるまでの長い波乱の道のりの物語

トマト『トマトが野菜になった日 毒草から世界一の野菜へ』 橘みのり著 草思社
1999 年



昔は毒草の仲間に分類されていたトマトが、どうして世界一愛される野菜になったのか? 「トマトロード」を旅してその謎をといてみよう

鱈『タラの物語 世界をかえた魚』 マーク・カーランスキー文 S. D. シンドラー絵 遠藤育枝訳
BL 出版 2004 年

北海道でとれたタラの塩漬けが、めぐりめぐって奴隷貿易の必需品となった。その道筋は?

料理『南蛮料理のルーツを求めて』 片寄眞木子著 平凡社 1999 年

日本のかすてら、マラッカのクリスタン料理、インドのゴア料理...これらを結ぶのはポルトガル商人
茶『一杯の紅茶の世界史』 磯淵猛著 文藝春秋 2005 年

イギリス人の好む紅茶は失敗の産物だった。この不完全な発酵茶が世界でこんなに広まった訳は?

2 技術や文化 智恵も旅する

紙『紙の歴史 文明の礎の二千年』 ピエール=マルク・ドゥ・ピアシ著 丸尾敏雄監修
山田美明訳 創元社 2006 年

中国が秘密にしていた製紙法は、仏教とともに東へ伝わり、西へはある戦さがきっかけとなった
文字『図説アジア文字入門』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所編

河出書房新社 2005 年

インドの文字が日本にもある! アジア中に広がった、ブラーフミー文字の子孫たち

数字『いろいろあるんだ! 数の性格』 高岡昌江著 アリス館 2003 年

「アラビア数字」は実はインド発祥。「4」や「5」は今と全然形が違う。その歩みを調べてみた

アフリカ『世界中のアフリカへ行こう』 中村和恵編 岩波書店 2009 年

音楽、ダンス、スポーツ、文学、食べ物...今や世界中にアフリカ文化は広がる
スポーツ『フットボールの歴史 FIFA 創立 100 周年記念出版』 小倉純二、大住良之、後藤健生日本語版監修 講談社 2004 年

イギリスで始まったサッカーが各地に伝わりワールドカップを開くまでの道
遊び『世界のじゃんけん』 田中ひろし著 こどもくらぶ編 今人舎(発売)

2002 年

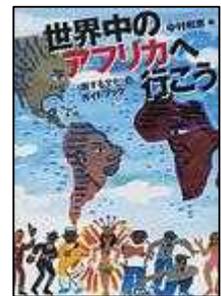
中国から日本へわたったじゃんけんが、日本から伝わっていった先は?

人名『人名の世界地図』 21 世紀研究会編 文芸春秋 2001 年

ピーターラビットのピーターもロシアの皇帝ピョートルも聖書のペテロから生まれた名前

地名『世界地図から地名の起源を読む方法 その地の歴史や文化、人々の営みまでもが見えてくる』
辻原康夫著 河出書房新社 2009 年

「町」を表わす語尾「プル」はシンガポール、イスタンブール、ナポリ...各地の言語に変化した



見えない道 1 <病気>

『図解歴史をつくった7大伝染病 知られざる世界の裏面史』

岡田晴恵著 PHP 研究所 2008 年

アレキサンダー大王の遠征、ローマ帝国の道路...帝国の拡大とともに病いも広まった

3 イメージと思想 人類は夢を共有する

龍『幻獣ドラゴン』 苑崎透著 新紀元社 1990 年

世界各地のドラゴンや龍の伝説。系統や起源を探ると、大陸ごとの特徴や、初めから化け物だったわけではないドラゴンたちの姿が浮かび上がる

狢犬『狢犬事典』 上杉千郷著 戎光祥出版 2001 年

オリエントのライオンがシルクロードを歩いているうちに狢犬に変化

昔話『シンデレラ 9 世紀の中国から現代のディズニーまで』

アラン・ダンダス編 池上嘉彦[ほか]訳 紀伊国屋書店 1991 年

シンデレラの話は西欧だけでなく、ユーラシア大陸全体に広がっていた？

ガンタ『サンタクローズの大旅行』 葛野浩昭著 岩波書店 1998 年

キリスト教の守護聖人ニコラウスが赤い衣装のサンタクローズに変身するまでの長い道のり

宗教『仏教 世界宗教の謎』 アニータ・ガネリ著 佐藤正英監訳 ゆまに書房 2004 年

インドの北部で生まれた教えは分裂しながら、ネパール、チベット、中国、日本へと伝道された



4 動物が歩む異国の道

犀『サイのクララの大旅行 幻獣、18 世紀ヨーロッパに行く』

グリニス・リドリー著 矢野真千子訳 東洋書林 2009 年

18 世紀後半、聖書の中の幻獣だったサイが、ヨーロッパを練り歩いた！

象『象の旅 長崎から江戸へ』 石坂昌三著 新潮社 1992 年

第八代将軍吉宗が所望した象が、享保 14 年 3 月 13 日、長崎を出発した。江戸に着くまでの 74 日間をドキュメント風に綴る

馬『タチ はるかなるモンゴルをめざして』 ジェイムズ・オールドリッジ作

中村妙子訳 評論社 1977 年

イギリスへ連れて行かれた野生馬タチは、故郷モンゴルめざして海を越え、走り続ける。小説



5 「道」の終着点 「知」の集積

『道は正倉院へ』 読売新聞社 1989 年

遠くギリシャやベルシャから日本の地に伝わった異国の品々が語りかけるシルクロードの歴史

『大英博物館の至宝展』 朝日新聞社 2003 年

キャプテン・クックなどの探検家や考古学者が集めたロゼッタストーンなど世界各地の「モノ」たち

『国立国会図書館 50 年のあゆみ』 国立国会図書館 1998 年

「知識はわれらを豊かにする」という標語の下に国内の「知」を蓄積した 50 年の道を写真で綴る

『知識の灯台 古代アレクサンドリア図書館の物語』 デレク・フラワー著 柴田和雄訳 柏書房 2003 年

2300 年前エジプトに存在したアレクサンドリア図書館はどんな図書館だったのか？ 創立者プトレマイオス 世、幾何学者ユークリッド、女王クレオパトラ...関わった人々の物語から蘇らせる

■ 見えない道 2 <自由> ■

『秘密の道をぬけて』

ロニー・ショッター作
千葉茂樹訳 あすなる書房
2004 年

アマンダは夜中に馬車が着いた音を聞く。彼女の家は奴隷の逃亡を助ける「地下鉄道」の駅だった。小説

■ 見えない道 3 <情報> ■

『スパイ事典』

リチャード・プラット著
川成洋訳
あすなる書房 2006 年
(知のビジュアル百科 27)

見えないモノ=「情報」を運ぶ、見えない旅人スパイ。古今東西のスパイの A to Z

